

令和6年度 第2回乗合バス事業者連絡会議

「GTFSデータ整備・オープン化の促進」

2025.3.26

目次

1. GTFISデータ整備に係るこれまでの取組状況
2. 整備、活用に向けた課題
 - (1) 未整備事業者における整備に向けた課題
 - (2) 整備済事業者における活用事例
 - (3) 整備済事業者における活用面での課題
3. 課題への対応

1. GTFSデータ整備に係るこれまでの取組状況

◆本連絡会議におけるこれまでの取組

年度	取組内容
令和4年度	➤ GTFS 整備に係る事例紹介（東京都交通局、西武バス）
令和5年度	➤ 日本バス協会の事業計画「IT技術の活用」紹介 ➤ データ活用事例「モビリティポート、スマートバス停」紹介
令和6年度 （第1回）	➤ 事業者実態の把握（アンケート、ヒアリング実施） ➤ データ活用事例の照会

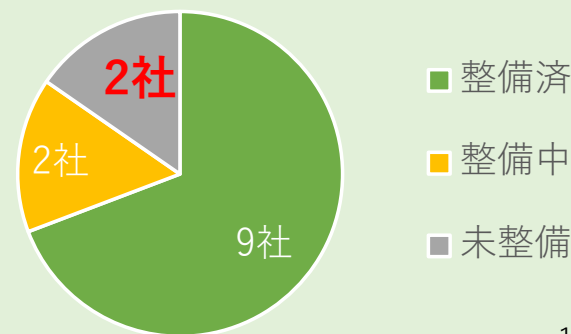
◆整備状況（本会議委員の13社中）

・ 令和4年度：3社整備済



・ 令和6年度：9社整備済（2社が整備中、2社未整備）

《各社のGTFSデータ整備状況》



n = 13社

◆未整備事業者へのヒアリング（第1回開催後）

- ・ 未整備の事業者を対象に個別にヒアリング、意見交換を実施
⇒ 整備の実現に向けた課題を確認

2. 整備、活用に向けた課題

(1) 未整備事業者における整備に向けた課題

ヒアリングを通じて示された課題

- 「事業者のメリットにつながる**データ活用策が不明**」
- 「事業者の**費用負担が大きい**」

◆具体的課題

- ・ **自社HPや乗換案内サービスで時刻情報は提供しており、追加費用を投じてGTFSを整備するメリットが見出せない**
- ・ Googleマップへの時刻掲載は、GTFSデータを使用せずに対応可能
- ・ 他社、行政との連携に向けて、GTFSデータ整備の必要性は認識しているが、自社の**営業上の使途が見通せず、追加の費用を割いて整備するメリットを社内で示すことが困難**

2. 整備、活用に向けた課題

(2) 整備済事業者における活用事例、メリット

アンケート等で得られた活用事例、メリット

- 「Google Map、デジタルサイネージ等への時刻表示対応」
- 「社内システムのデータ統一」

◆ 具体的事例

- ・ ヤフーやGoogleなど、**自社HP以外でもバス時刻情報や停留所位置が確認可能**となり、利便性が向上
- ・ **スマートバス停への時刻表の自動反映**
- ・ 自社システムのデータ統一を検討中

2. 整備、活用に向けた課題

(3) 整備済事業者における活用面での課題

アンケートを通じて示された課題

- 「データの**活用が限定的**」

◆具体的課題

- ・ GTFSデータの自社の**業務効率化等での効果を感じない**
- ・ 乗換案内サービスを提供する**CPからは、GTFSデータではなく従来形式でのデータ提供を求められている**
- ・ 当社としては**データ公開のみ**を行っている状況

3. 課題への対応

【整備済/未整備事業者に共通の課題】

- 「データ活用方策が不明」

課題への対応

○ 活用方策について

- ⇒ (一社) 社会基盤情報流通推進協議会事務局 (AIGID)
「公共交通計画策定支援ツール」

【未整備事業者の課題】

- 「費用、人手の負担が大きい」

課題への対応

○ 費用負担について

- ⇒ 国土交通省
「交通DX・GXによる経営改善支援事業等補助金」

3. 課題への対応

(1) 活用方策

(一社) 社会基盤情報流通推進協議会事務局 (AIGID)

「公共交通計画策定支援ツール」

3. 課題への対応

(2) 国土交通省の補助制度

「交通DX・GXによる経営改善支援事業等補助金」

DX・GXによる省力化・経営改善支援

【担当部署】
・物流・自動車局（旅客課）・鉄道局（鉄道事業課）
・海事局（内航課）・航空局（航空事業課）

地域公共交通のR・デザインと社会的課題解決を一体的に推進するため、交通DX・交通GXにより交通分野における省力化・利便性向上を通じた経営力強化を支援します！

補助対象事業者

旅客自動車運送事業者、鉄軌道事業者
離島航路・本邦航空運送事業者 等

補助対象経費

機器・システムの導入にかかる初期費用
(機器購入費、システム開発費、設置工事費等)

交通DX

新たな決済手段の普及・拡大

補助率 1 / 3

補助対象

クレジットカードタッチ決済、二次元コード決済、交通系ICカード決済にかかる機器等の導入・更新
※新規導入・機能向上を伴う更新・単純更新の類型ごとに優先順位を付けて補助を行う可能性がある。



デジタル技術活用等による省力化等の推進

補助率 1 / 2

補助対象

- ・乗務日報自動作成システムの導入 ・運行管理支援システムの導入
- ・配車アプリの導入 ・スマートバス停の導入
- ・列車位置情報提供システム等の導入
- ・船客予約システム等の導入
- ・自動チェックイン機の導入



交通GX

補助率 1 / 2

補助対象

- ・EVの充電にかかる電力の使用を最適化するエネルギーマネジメントシステムの導入
- ・旅客施設のLED照明化等
- ・船舶の省エネエンジン等の導入
- ・空港内車両（トーイングトラクター等）のEV化

問合せ先

自動車・海事・鉄道関係：各地方運輸局担当（別紙参照）
航空関係：航空局航空事業課（03-5253-8574）

申請期間

(自動車関係) 令和7年4月以降（予定）
(鉄道関係) 令和7年4月以降（予定）
(海事関係) 令和7年4月以降（予定）
(航空関係) 令和7年3月中旬以降（予定）

今後の連絡会議におけるGTFSデータ整備の取り扱い

- データの整備・活用方策に関する有益な情報について、
随時、共有と意見交換を実施
- 未整備事業者には、個別に整備に関する情報共有等を行い、
引き続き整備の実現を促進
- 共通データの整備により、利用者利便性の向上のみならず、
今後のバスネットワーク再編や事業者間連携への活用を目指す